



# 4月1日 大隅肝属広域事務組合が発足しました

火葬、介護認定等の判定、家庭から出されるごみの処理など、私たちの生活に身近な業務を取り扱ってきた「大隅中部火葬場組合」、「肝属地区介護保険組合」、「肝属地区一般廃棄物処理組合」の3組合が、4月1日に統合され、新しく「大隅肝属広域事務組合」となりました。

## 【これまでの取組】

●大隅中部火葬場組合は昭和48年4月13日に設立。高隈地区の皆さんのご理解とご協力により、翌年完成した旧施設は、永年にわたりその役目を担ってきました。その後、肝属地区1市4町で建設を進めてきた新しい火葬場「きもつき苑」が完成し、平成20年4月に供用が開始されました。

●肝属地区介護保険組合は、平成11年6月1日に設立。日常生活に密接に関わる介護認定審査や認定の公平性、客観性の保持や医師等の専門的な人材の確保、事務処理の簡素効率化等、事務の共同処理体制をとってきました。また、平成18年度には、障害者の認定審査も開始し、住民福祉において重要な責務を担ってきました。

●肝属地区一般廃棄物処理組合は平成12年7月1日

に設立。10年の歳月を費やし建設したごみ処理の新施設「肝属地区清掃センター」は、徹底したごみ減量に基づき、家庭から出されるごみを電気等の資源に変えるとともに、余熱利用の温泉施設等と一体となっており、地域の皆さんに深く親しまれています。

## 【3組合を統合】

このように私たちの生活に身近な業務を取り扱っている3つの組合の更なる機能の充実を図り、構成市町である2市4町の連携をなお一層強化するため、3組合を統合し、4月1日から「大隅肝属広域事務組合」として生まれ変わりました。

運営施設は、肝属地区清掃センター、肝属地区環境ふれあい館、肝属地区鹿屋最終処分場、肝属地区大根田最終処分場、火葬場「きもつき苑」があるほか、共栄町の介護保険組合事務所

は「肝属地区介護認定審査室」に名称変更し、同じ場所での認定審査事務を継続して行います。

## 【統合するごとのメリット】

●3組合議員の51人が33人減で18人に、職員数20人が4人減で16人になりました。これらにより年間2,500万円の経費が削減できます。

●新組合の予算は13億8,700万円で、3組合の20年度予算の合計に比べて1億2,100万円の減となります。

●3組合の共通する事務の重複解消等による事務の簡素効率化、財務会計システム導入による事務の高度化により連結決算等への迅速な対応が可能になります。

## 【問い合わせ】

大隅肝属広域事務組合事務局（肝属地区清掃センター内）  
☎0994-63-0168